



旭市

第5号

2007年2月11日
編集発行

社会福祉法人
旭市社会福祉協議会
旭市横根3520番地
TEL.0479(57)5577
FAX.0479(57)2836
e-mail:asahi-syakyo
@cpost.plala.or.jp

社協だより

おたっしゃですか? —第1回おたっしゃ会—



まんざい保育所“千年の舞い”
(写真上)

池の端保育所
“花笠踊り、津軽はね太鼓”
(写真中、下)

平成18年11月28日、29日の2日間、市内
でひとり暮らしをされている70歳以上の方
をご招待して“おたっしゃ会”を開催いた
しました。

“おたっしゃですか!”の挨拶から始った
会食会は見て、食べて、歌って最後は大漁
節の踊りもあり楽しいひとときとなりました。



社会福祉協議会活動に 一層のご支援、ご協力を



旭市社会福祉協議会
会長 高野 丈夫

新しい年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、日頃から社会福祉事業の遂行に当たり、並々ならぬご支援ご協力をいただき、感謝申し上げます。

旭市社会福祉協議会は、今年の7月には合併後、満2年を迎えることとなります。

昨年は、旭市社会福祉協議会と16地区社会福祉協議会が新しいスタートラインに立って、統一的な事業を進めることとしました。市からも高齢者と子供さんたちとの「ふれあい交流会」を具体的に地域で行う新しい事業としての要請もありました。そしてそれぞれの地区社協が独自の創意工夫をさ

れた取り組みをしてきました。これらを受けて、平成19年も旭市社会福祉協議会の事業が進められることとなりました。

第2回社会福祉大会は、11月14日に東総文化会館大ホールで開催いたしました。この日は、永年一緒に社会福祉運動に携わってこられた故・河野幹夫旭市身体障害者福祉会会長の市長表彰が行われました。18年度顕彰者は市長感謝状2団体。会長表彰では、個人9名と6団体。会長感謝状は個人3名と13団体。永年介護賞では9名の表彰が行われました。さらに、市内小、中学校の生徒さんにお願ひした福祉作文の入賞者の発表と、小学校の部、中学校の部

のそれぞれの最優秀の発表も行われました。記念講演はジャーナリストで元NHK解説委員の村田幸子さんにお願ひしました。「介護予防は自分でできることは自分でできないことを補ってもらおう。要するばかりの高齢者であってはならない。高齢者一人ひとりが自努力を！」等々。そして、自らの体験から健康の大切さ、高齢期こそ生きがいをも、と講演されました。

旭市の高齢化率はさらに進んでいます。昨年4月から、介護保険法が改正がされ、10月には障害者自立支援法が施行されました。このことは、社会福祉事業に対して、さらに大きな比重をもって要請がされてくるものだと思います。

旭市社会福祉協議会の事業内容は、地域福祉権利擁護事業、介護保険サービス、支援費制度・居宅介護サービス、貸付事業等があります。さらに市からの受託事業として、軽度生活支援事業、外出支援サービス、配食サービス、地域ふれあい交流事業などを行っております。

いずれの事業も順調に推移しております。これらは、地域の皆様の社会福祉に対するご理解と積極的なご協力があつてこそ成り立つことでもあります。

第2回社会福祉大会では次のように確認しました。

各種福祉団体及び関係機関の総意のもと決意を新たにして、「健やかでやすらぎのあるまちづくり」に向け、次の3項目を重点強化の軸として取り組んでいきます。

一、住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らしていけるよう地域福祉の充実に努める。
一、市民総参加による、自助・共助のネットワークづくりに努める。

一、地域をあげて、福祉教育やボランティア活動推進に努める。
これらを推進していくには、市当局はもちろん、関係諸団体、地区社協とも密接な連携を図りながら、社会福祉の一層の向上を目指していきたいと考えます。

今後とも皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたしまして、新年のご挨拶いたします。

自助・共助

第2回社会福祉大会

平成18年11月14日、東総文化会館大ホールで第2回社会福祉大会を開催しました。大会には、市内福祉関係者をはじめ大勢の市民が参加され、地域福祉に貢献された方々へ表彰状、感謝状が贈られました。続いて、市内小中学生の福祉作文の表彰、最優秀作文の発表、記念講演が行われ、年に一度の地域福祉の集いは「自助・共助」のテーマを確認して閉会しました。

受賞された方々は次のとおりです。(敬称略)

市長表彰

河野 幹夫

市長感謝状

あさひ舞踊会

住友生命労働組合 成田支部

会長表彰

役員功労

宮澤 芳雄

渡邊 柳子

ボランティア功労

加瀬 勝子

伊橋 登世子

菅 里子

西谷 典子

石毛 とし子

石見 葉子

内田 泰枝

長 生 会

J Aちばみどり女性部

旭支部大正琴クラブ

篤志寄付功労

歌謡旭クラブ

合同歌謡会

飯岡舞踊会

日蓮宗千葉県東部宗務所

会長感謝状

役員功労

嶋田 五郎

石塚 美津江

ボランティア功労

小川 弘美

篤志寄付功労

つばめ歌謡会



ダンスサークルあさひ

旭美術協会

東総歌謡研究会

新東総舞踊協会

椿歌謡教室

旭民謡会

(有)KYプロモーション

声友会 円

(株)日華化学

銚子商工信用組合信友会

(株)ヒガタミート

飯岡商工会女性部

銚子青色申告会飯岡地区会女性部

永年介護賞

鎌形 惣吉

伊藤 富美子

伊藤 トシ

浅田 耕司

浪川 シマ

鈴木 たつ子

大木 サク

伊藤 ハル

遠藤 よね



市民・福祉関係者400名の集いとなりました。

福祉作文を紹介します

小学生の部

「職業体験」

嚶鳴小学校 第6学年 小川友里さん



をしながら、にぎやかに、楽しそうに過ごしていました。

まず私が見学したのは腰痛予防の体操で、お年寄りが横になって足を上げたり、曲げたりして指導を受けていました。その後温熱療法で、ホットパックといわれるあんなのような物を腰や膝に当てていました。ここで私はホットパックをビニール袋に詰める作業と、それを患者さんの患部に当てるお手伝いをさせてもらいました。次に私は膝体操を体験しました。それは、患者さんが鉄棒につかまって膝を曲げたり伸ばしたりする運動で、指導員のかげ声で元気にいろいろな運動をしていました。私も足におもりをつけて体験させてもらいましたが、思うように足を

上げられませんでした。これは、おもりをつける事によって筋力アップに効果があるようです。私は最初緊張していましたが、明るく元気に取り組むお年寄りを見て、次第に気持ちほぐれていきました。次に私は、理学療法士さんと折り紙作りにチャレンジしました。私も折り紙でよく遊びますが、折り紙を折る行為は指先を使うので、脳に良い刺激があるようです。その後私は何人かのお年寄りとお話ししたり、一緒に昼食をとって楽しい時間を過ごしました。

今回私がこの職業を選んだのは、私の祖父もある病気でリハビリテーションに通う生活をおくっているからです。この施設でも多くのお年寄りが老化による衰えや脳こうそく、関節症などの障害を抱えながらリハビリに励んでいました。この施設では、他にも家事や買い物などのお手伝いをするホームヘルパーやお年寄りのお話を聞いたり相談を受けるケアマネージャー（介護支援専門員）、栄養士、お年寄りにお弁当を作って届ける人、福祉専用タクシーなどいろいろな

仕事をしている人がいて、たくさんのお年寄りを支えているそうです。私はまだ子供なので、お年寄りの身体の痛みや生活の大変さは実感できませんが他人の痛みや苦しみがわかるように、努力していきたいと思います。私も将来は、人に喜んでもらえるような仕事につきたいと思っています。まず、今の私に出来る事は、身近な祖父の事を大切にして、心の支えになることだと思えます。祖父には、いつまでも元気に過ごしてほしいと思っています。

そして、社会も、お年寄りや、身体の不自由な人のために、やさしい社会になってほしいと思います。心のバリアフリーが、みんなに広がってほしいです。



私は、今年の7月に友人と一緒に、「夢・仕事びったり体験」という校外学習をしました。私が体験したのは、老人介護通所リハビリテーションという施設で、介護とリハビリを目的として、1日お年寄りが過ごす場所でした。そこは医師、看護師、理学療法士、また介護する職員がいて、たくさんのお年寄りがいるいろいろなリハビリ

中学生の部

「住みよい旭市に」

第二中学校 第2学年 高橋 史奈さん

私は祖父と祖母、父と母の五人家族です。

一人っ子なので、将来的には父や母を介護することになると思います。最近感じるのですが、元気がだと思っていた祖父と祖母が私より小さくなってよく熱を出したり、めまいをおこしたりということが多くなってきました。すると必要なのは「家族の力」です。水まくらを作ってあげたり、病院に連れて行ってあげたり、薬を飲ま



せたりと結構大変です。私の家は自営業で家族皆が家にいるので大丈夫ですが、両親が共働きで日中

家族が家にいなくなってしまう家庭だったら大変だと思います。また、もっとも祖父や祖母が年をとって歩けなくなる日がきたら、いくら自営業でも大変になってしまいうことでしょう。なぜなら私の家は築70年になるからです。段差だらけでトイレも狭く、廊下も狭くて長くて、お風呂も滑りやすいです。そこで家のバリアフリーが私の家の大きな課題です。将来お金をかければ我が家のバリアフリーは簡単にできます。しかし

街についてはそう簡単にはいきません。祖父母が車イスになってしまったときに、私が楽に連れて行ってあげられるだろうかと考えてみました。

学校で1学期に「人に優しい街

づくり」という福祉についてのテーマを国語の時間に学びました。その時に、今の私たちの住む旭市はどんな人にも優しいといえるのだろうか、と疑問に思いました。

当たり前ですが、私は五体満足で何一つ障害も持っていないですし、今のままの街でも苦勞することや困ることは全くないです。でも大きなけがをしている人やお年寄り、障害を持った人などから見たらどのよう感じるのでしょうか。私が生まれた頃くらいから新しくなった施設はバリアフリーがきちんとしてありますが古い施設はやはりそのままの所が多いような気がします。市なりに努力してスロープなどうまく作ってありますが、やはり利用するとなると十分な場所などが確保されておらず、使いづらそうです。

他はどうでしょう。例えば駅。私は干潟駅を利用するので旭駅についてはよくわかりませんが、干潟駅は上りのホームに行くのには歩道橋しかありません。けっこうな高さの階段があるので足腰が弱い人は一苦勞。踊り場でつえをつ

いて一休みする老人をよく目にします。屋根もないので、雨の日にはかさも使わないといけません。車イスで利用する方は見たことがないのでわかりませんが、もし駅員さんが手を貸して階段を上るのであれば、それはとても大変なことだと容易に想像することができます。

そうなるとやはり車での移動となると思います。運転のできる若い障害者の方はともかく、お年寄りには無理です。身内に常に連れそっていられる方がいれば自由に出かけることもできますが、タクシーなど、お金を使わなければ手段がない人は外出するのにためらいとあきらめが出てきてしまうのではないのでしょうか。そうならない為には、

車イスなどでゆったりと無料で利用できる公園や道路などの身近な所の整備が必要だと思



社会福祉作文入賞者 (敬称略)

(小学生の部)

表彰区分	氏名	学校名
最優秀	小川友里	嚶鳴小学校6年
優秀	崎山雄貴	共和小学校6年
〃	鈴木芽衣	嚶鳴小学校6年
〃	岩崎帆波	三川小学校6年
〃	宮野晃輔	萬歳小学校6年
佳作	座古雄介	中央小学校6年
〃	阿曾貴子	豊畑小学校5年
〃	井橋知也	豊畑小学校6年
〃	増田かおり	鶴巻小学校6年
〃	木村美友	滝郷小学校5年
〃	白塚由理	三川小学校5年
〃	片桐凌	飯岡小学校5年
〃	守部真季	飯岡小学校6年
〃	熱田真理子	中和小学校5年
〃	宮崎怜子	中和小学校6年

います。
もし私が市のお金を福祉のために使うことができたなら、まず各地域ごとのバリアフリーについて会議を開きたいです。そしてその地域ごとの考え「道路の整備」や、お年寄りや障害者の方が一人で大変な時は、お買物等につきそうことのできる「ボランティアの育成」などに力を入れていきたいです。そうすることで、誰もが安心して楽しく暮らしていけるようにしたいと思います。

これから大人になる私たちができることは、しっかりと働いて税金を納め、ニートやフリーターにならないこと。また、自分だけを大切にしないで、人や街に協力することだと思っています。私たちは自分の心に素直になり、勇気をもって手をさしのべる
旭市民の一人
一人であろう
ではありませ
んか！



(中学生の部)

表彰区分	氏名	学校名
最優秀	高橋史奈	第二中学校2年
優秀	安藤七海	第一中学校1年
〃	白倉ほのか	第二中学校1年
佳作	加藤杏奈	第一中学校2年
〃	藤野貴大	第二中学校1年
〃	伊藤祐也	飯岡中学校1年
〃	佐藤美希	飯岡中学校1年

記念講演

高齢期・輝いて生きる

村田幸子氏

第2回社会福祉大会を記念して村田幸子氏の講演が行われました。講演では、高齢化が進むことは高齢者の能力と経験を社会に生かすこと、地域に還元することが可能となることと話され山口県の沖家室島の例が取り上げられました。

同島は村田さんが取材した時、高齢化率が約50%でしたが、ひとり暮らしでも安心して暮らせる仕組みがありました。その基となっていたのは、皆がさりげなく自分のできることをしていたということ。自助、共助の考えを当然のように持つていて、自分にできることは自分ですするという行動でした。

これからの高齢化社会、自分の役割、できることを見つけ出しその上で行政に対しても言うべき事を言う。「あなたやる人、私言う人」ではなく、足りない部分、出来る部分をはっきりさせられるような「住民のプロ」が育つ事が大切であり行政も遊びの部分だけに力を入れるのではなく、自助・共助の仕組みづくりに努力することが重要、と90分にわたる講演を結んでいただきました。



地域の便り



作る・食べる・学ぶ いろいろな講座や交流会

男の料理教室

8月23日、いいおかユートピアセンターで、男の料理教室を開催しました。

男の料理教室は、ひとり暮らしや高齢者世帯の増加に伴い、男性が食事を作る機会が多くなっています。



料理教室は和やかな雰囲気で行われています

ることから、男性にも食事作りに積極的に関わってもらおうことを目的として開催しています。

今年度の参加申込は20名。回を重ねるにつれ手際がよくなり工夫も生まれています。作る喜びや楽しみが学べる料理教室は次回3月1日ユートピアセンターで開催いたします。

体験福祉ボランティア講座

8月24日飯岡福祉センターで小学生を対象に「体験福祉ボランティア講座」を開催しました。テーマは「福祉とは幸せ」この日は疑似体験セットを使いいつもは当たり前に行なわれる運動や生活が不自由になることを体験しました。



うまくつかめません!

小さな親切運動

11月7日小さな親切運動千葉県本部様から社会福祉協議会へ車椅子1台が寄贈されました。小さな親切運動では日本自転車振興会の協力で「車椅子を道具としてではなく、思いやりの心を届けよう」と、全国各地の施設や病院、学校などに贈呈しており、この度寄贈くださったものです。

障害者交流会

9月28日、市内福祉団体の交流会を行いました。この日は32名が参加、食事のあと茨城県ポテイロンの森へと出かけました。好天に恵まれ散歩する方や動物達に触れる方、汽車型自動車など参加した方々は秋の1日を楽しみながら過ごしていました。



ふれあい交流事業

各地区社会福祉協議会でも様々なイベントや地域ふれあい交流事業が行われています。12月15日にはまんざい保育所で萬歳地区社会福祉協議会の交流会がありました。



子供たちとおしゃべりをしながら昼食を食べました



社協へ贈られた車椅子



介護支援専門員・訪問介護員（ヘルパー）を募集します

旭市社会福祉協議会

職 種	募集人数	応 募 資 格	応募期限	身 分	採用予定日
介護支援専門員	1名	資格を有し、県へ登録済みの方	2月28日(水)	職 員	4月1日
訪問介護員 (ヘルパー)	1名	介護福祉士の資格取得者	2月28日(水)	職 員	4月1日
訪問介護員 (登録ヘルパー)	若干名	ヘルパー2級以上	随 時	パート	随 時

〈共通事項〉
 年齢要件／年齢55歳位まで
 勤務場所／本所（旭市横根3520番地）
 提出書類／履歴書（写真添付）、資格証の写し

申込み先／〒289-2712
 旭市横根3520番地（飯岡福祉センター内）
 旭市社会福祉協議会 ☎ 57-5577
 ※待遇等詳しくは、お問い合わせください。

平成18年度社協会員募集にご協力
 ありがとうございました（8月16日～12月28日受付分）

賛助会費

鎌形好子様
 向後節子様
 亀田京子様

特別会費

三金商店様
 旭簡易保険保養センター様

お詫びと訂正

社協だより第4号掲載の賛助会員ご協力者の表中、崎山新一様のお名前が落字しておりました。お詫びして訂正いたします。

ご寄付ありがとうございました

昨年暮れまでに次の方々から社会福祉協議会へご寄付をいただきました。心温まる浄財は、社会福祉事業へ有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

平野美代子様	銚子青色申告会飯岡地区会女性部様
旭民謡会様	海上歌謡虹の会様
恵心会様	ダンスサークルあさひ様
宮内春康様	海上マッシュルーム組合様
(有)KYプロモーション様	海上かあちゃん市組合様
秀花歌謡教室様	(株)日華化学様
飯岡舞踊会様	歌謡旭クラブ様
声友会円様	保科礼子様
カラオケ愛好一心会様	大久保庄一様
あさひ舞踊会様	小林久右エ門様
旭鍼灸マッサージ師会様	旭市母子寡婦福祉会売店様
旭市視覚障害者福祉会様	荒川武彦様
旧東総塵芥処理組合職員互助会様	高木淳様
ひまわり産直様	加瀬ふみ様
旭市商工会女性部飯岡支部様	森和会様

心配ごと相談所

社会福祉協議会では本所・支所では家庭内の心配ごとなどの相談を受け付けています。

相談は無料です。相談内容の秘密は守られますので、お気軽にご利用ください。

場 所	期 日
飯岡本所 ☎57-5577	毎月第2・4水曜日
旭支所 ☎64-2570	毎月第1・3月曜日
海上支所 ☎55-5517	毎月第1・3水曜日
干潟支所 ☎68-1079	毎月第2・4月曜日

※開催時間：午前10時～午後3時